

歩いて、見て、答えて、賞品ゲット! あの場所、あの建物、実は**遺産**だったんです。



パース市の遺産の保護について、Heritage Council Of WA (WA州遺産協議会)などの政府の働きを支援しているCity Of Perth Heritage Appeal(パース市遺産アピール)という非政府団体の理事を務めているRichard Offenさんにお話を伺いました。

Richard Offen さん

City Of Perth
Heritage Appeal
Executive Director
パース市遺産アピール
理事



Q: 遺産となる条件を教えてください。

A: 私たちにとっての遺産とは、次世代に残すに値する公園などの場所や建造物などのことです。建物の建築様式やそこにどのような人々が住んでいたか、というものが遺産となる条件です。例えば、オーストラリアの元首相のJohn Curtinが昔住んでいた建物は一般的な家屋でしたが、現在州遺産に登録されています。また、遺産は建造物だけではなく、独特の歴史を持つ公園のような広場や、先住民にとって重要な場所なども遺産になりえます。

Q: 遺産は古いものでないといけないのですか?

A: 遺産は必ずしも古い必要はありません。遺産となるもう1つの条件に、その場所や建物が、まわりのコミュニティを象徴するものであることもあります。例えば、どんな写真やイラストでも、Bankwestのタワー(パース中心部に建っている高層ビル)があれば、すぐにパースだとわかりますよね。もう1つ例を挙げると、私は最近、昨年アメリカで発生したハリケーンの被害者となった女性と話をする機会がありました。彼女はハリケーンが通り過ぎた後、ほぼ全壊した町に戻って家族の所持品を探しに行ったのですが、目印となる建物や高い木が無くなってしまっていたので、自分がどのストリートにいるのかすら分からなかったと言っていました。そのように、人々の住んでいる場所を位置付けるような役割を持つ場所や建物も、遺産に登録される可能性があります。

Q: 国内に例がないユニークな遺産はパース市にはありますか?

A: あまり知られていませんが、セント・ジョージズ大聖堂(St George's Cathedral)は、世界で唯一の手作りのレンガで建てられた大聖堂だとされています。またパース・タウンホールは、オーストラリアの州首都市で唯一、囚人によって造られたタウンホールです。もちろん全ての遺産がそれぞれに違う特徴を持っていますが、これら2つがパース市の国内に誇るユニークな遺産です。

Q: パースとフリーマントルの遺産の特徴に違いはありますか?

A: パースの街が発展している時期に、フリーマントルの遺産は財政的な理由で、ほとんど手が加えられませんでした。そのおかげで、フリーマントルには建築時そのままの状態の遺産が多く残って、現在の独特な雰囲気を持つ町となっています。

Q: 遺産保護への考えをお聞かせください。

A: 一番大切なのは、それぞれの遺産が人に使われることです。そうすることによって、その場所の現在の価値が高くなり、人々の保護への意識も高まります。もちろん、本来の姿を残すことと、人々の用途に合わせた環境に変えることとのバランスが大切です。私は、その建物の特徴や原材料に大きな変化がない限り、その建物は可能な限り長く利用されるべきだと思います。

Q: 遺産とされている場所が取り壊しなどになることはありますか?

A: 様々な理由から、ないとは言えません。しかし私は基本的に、一旦遺産に登録されたら、その後は完全に保護されるべきだと思います。その建物が、老朽化などによって人々を危険にさらすようなことがあれば話は別ですが、遺産を取り壊したり、開発のために遺産の入口だけを残し、通りの景観だけは変えずに他の部分を全く新しく変えたりして、ハリウッド映画のセットのようにしてしまうのには反対です。

Q: 現在、多くの人が歴史的建造物などを軽視して、たくさん的高層ビルなどの近代的な建物を中心とした街づくりを願っているという考え方があります。将来的に、遺産が壊されて新しい建物に変わる可能性はあると思いますか?

A: 可能性は否定できません。現実には若い人だけではなく、たくさんのお年寄りも歴史というものに関心を持たない傾向があります。そのために、私たちは歴史の重要性を伝えるために教育プログラムなどを行なっています。その中には、最近できた「Look Up Perth」というキャンペーンもあり、パース市の遺産をそれぞれのユニークなストーリーと一緒に楽しく紹介しています。そして、それを知った人々がそれぞれの遺産に興味を持ってはじめて、その場所は人々にとって特別なものになり、それが保護につながっていくと考えています。そのキャンペーンを通じて、たくさんの人々から「この建物がこんなに素晴らしいとは考えたこともなかった」などのコメントを頂きました。私の願いは、人々が各遺産の重要性に気付いて、将来に残していきたいと思うようになることです。

Q: パース市の将来のデザインをどのように考えていますか?

A: ベルタワーやBankwestタワーのような、幻想的でユニークな建物がたくさんできることを願っています。そのような特徴のある建物が、そこに住む人々のアイデンティティになるのですから。決してコストの高いものではなくて良いと思います。大切なのは、型にはまらない独特なデザインの建物がパースの街にたくさん建てられることです。

Q: 読者にメッセージをお願いします。

A: 外に出て、通りにある建物や場所を見て、それらの大切さに気付いてほしいですね。歴史を知ることによって、未来を想像することができ、これからどのようにしていきたいかを考えることができると思うからです。



修復工事が行なわれているセント・ジョージズ大聖堂